

綾の聖地エルサレム大本歌祭

令和7年10月12日(日)

「綾の聖地参拝ツアー」のご案内

三河本苑より当日、日帰りで団体バスを出します

- 参加者/1名7000円
- 出発地/●東岡崎駅 11:00
- 刈谷三浦工業所 11:40



特別企画

尚、亀岡までの片道の方もOKです
多数の参加をお待ちしております!!

申し込み先: 大本三河本苑事務局
(名前・乗降地・所属を記入の事)
大本三河本苑事務局長 河合恭久

神伝八雲琴四代宗家

田中緒琴師追悼演奏会

追悼演奏会に参加して

三河本苑奏楽部代表 小野崇賀幸

令和7年3月23日(日)に上記演奏会が行われ、三河本苑19名、名古屋分苑2名の、合計21名にて参加させて頂きました。

曲は【安国曲(やすくにふり)】18名【木の花(このはな)】2名【出雲詣(いずももうで)】1名【秋風曲(あきかぜふり)】3名で、この日を迎えるまでに演奏者のすべての者が何回もの稽古・準備を重ねました。本来であれば追悼演奏会は、お家元がご昇天になられて近々に行う計画だったのですが、コロナ禍に見舞われ7年後のこの日の開催となりました。

お家元始め諸先生方(三河本苑では梅田先生にお世話になりました。)の御存命の頃には《発表会》《おさらい会》等が頻回に開催されて、研修生等が一同に会しての機会もあったのですが、近年はその機会も殆ど無くて《ひたすらにそれぞれの指導者の教授にて研鑽を積みながら、伶人



奉仕を勤しむ日々》でしたので、期待と緊張はかなりの膨らみを持ち、稽古・準備にもおのずと熱を持つこととなりました。さて演奏会当日は天候にも恵まれ、各位素敵な和服と木の花帯に身を包み身のこなしも静々と会場入りして、無事に演奏を終えることが出来、各々が言葉にできない感動と経験に目を輝かせていました。

終わりに、皆で稽古を重ねてこの日を迎える事が出来たのも、本苑サイドのご協力を賜れたお陰様だと改めて感謝御礼を申し上げます。

またこの場をお借りして、この感動の延長上に「【神伝八雲琴】に関わって頂ける若き方々が一人でも多く現れてくださる事」を切望する次第です。

三河本苑だより

6月号

2025・6 No.517

(発行者)

大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町28-5

TEL 0533-69-7518

FAX 0533-69-1455

【聖師様の愛善の道】

世の中の楽しみばかり求めたる
わが身はげにも愚かなりけり
苦しみの中にとわの望みあり
いかに幸あるわが身ならずや

2025 三河本苑 少年夏季学級

日時/2025.8.30(土)

今年も、親子で楽しんでいただけるような様々な企画を本苑一丸となって進めていきます。たくさんのご参加をお待ちしております!

青年部長 天内 穂乃佳

茶道部/直心会第二ブロック

す 水無月に先祖と再会し
つつ、一服を差し上げま

石橋会茶会

六月添釜

誠心会万祥殿献勞

●二十七日(日)

●二十日(日)

七月の行事

本苑六月月次祭

●十五日(日)

長生殿・緑寿館献勞奉仕
〔直心会〕

六月の行事

●七日(土)

過去の失敗

月鏡 (四十五頁)
出口王仁三郎

自分の過去を深夜しずかに省みると、一代の大失敗は大正日々新聞の買収と、経営について、いずれも素人連に任せきったことであった。しかしながら、今日になって考えてみると、それは神様の大きな経綸の一部であり、大本にとって大発展の曙光(しよこう)を發揮する唯一の予備条件たるきわめて小さい不幸に外ならなかったのである。世の中すべての事は皆そうである。末法だ、澆季(ぎょうき)きょうきだ乱世だ、と、拗(す)ねた

り、恨んだり、怒ったり、泣いたり、喚(わめ)いたりしておるが、そうした人は、いつの世に出てきてもそうした人である。自分は大正日々々の負債数十万円の請求に、攻めつけられた際も、平然として第二の計画にとりかかり天恩郷を築きあげた。入蒙の際、敵の陣中に進入し、死刑場に引き出された時、もあまり心配にもならなかった。何事も一切を神に任せきっていたからである。

祭式3・4級認定講習会の報告



3月29日から30日に三河本苑に於いて、祭式3・4級認定講習会が執り行われ、4名の方が受講されました。

祭式講習を受講して 碧南分所 蒲生陽菜

家族から何度か受講を勧められていましたが、去年はインフルエンザのため受講できず、今年ようやく受講させていただくことが出来ました。

ご神殿における上座や下座についての説明、笏の持ち方など基本的なことから、正中動作、祭主や玉串後取の動きなどを詳しく丁寧に教えていただきました。受講の次の週に、実際に家の月次祭にて祓式行事、玉串後取をさせていただきました。教わったことを思い出しながら、家族に支えられ無事務めさせていただきましたことができました。私が祭員、妹が伶人をしている様子を見て、祖母もとても喜んでいました。

普段は参拝者側で、月次祭の準備をして参拝をするだけだったので祭員側で月次祭に参列出来たことがとても嬉しかったです。これから毎月の家の月次祭で祭員として参列し、教わったことを忘れないようにしていきたいです。

ひと時のこぼれ

「幸せ」
いつもと変わらぬ朝を迎えた妻が早朝用事をすませて帰って来た
年末年始と忙しかった妻が突然わたし今とても「幸せ」と言った
以前ある講話で
幸せには「天国的幸せ」があることを聴きました
はじめは「幸せ」を頻繁に心に感じ次に「幸せ」と言葉をおぼれさむようになり
最後は「笑顔」になって行動に出ると聴きました
仕事に出かけるお父さんは「幸せ」をお裾分けしていただきうれしい気分でお裾を出した
リン！リン！

正食 ころころ&からだ

「食」は私たちが生きるため、成長するため、暮らしのためにはなくてはならない物です。生涯にわたって健康で暮らせるように、神様は季節ごとに人体に必要なものを出して下さいます。

- ①食を通じて健康な「体」をつくる
 - ②食を通じて豊かな「心」を育む
 - ③食を通じて「環境」に優しい暮らしを築く
- ☆正食の基本【季節食・国土食・全部食】

今回は、体に良い食材で、正食に繋がるチョコレート麴のレシピを載せます。

直心会 知恵袋

☆チョコレート麴レシピ☆

(用意するもの)

米麴：100g ・ 純ココア：10g
お湯：100ml



- ①米麴と純ココアを入れてよくかき混ぜる。
- ②100mlのお湯(45～50度)でよくかき混ぜる。
- ③あればブレンダーで滑らかにする。

皆さんもぜひお試しください！

三河本苑直心会会長 三矢千恵子

私の思い 自然(環境)を大切に

福岡支部 金原 孝典

私は教えにあります「食・農・環境」の大切さで、「お土に触れ作物を育てる」ことをしていませんので「農」は無知です。ですが、四季を通じて山に登っていますと自然(環境)の大切さをしみじみ感じます。

早春の雪山において、まず一番に雪が解けるのは木々の根元周りからです。積雪が50cm以上ありそうな所でも木々の根元の周りだけが雪が解け、森の中の雪原を歩いていると、木々が穴にスポッと入ったような面白い景色となっています。また、登山者で踏み固められた道は、雪解けが遅くなり、劇場の花道の様で、気

分よく歩いてとても楽しいです。それから一気に雪が解け、土の中で眠っていた草花は芽吹き、木々は土からエネルギーをもらい、新芽が出て新緑へと移り変わります。土が持つ強い生命力を、草花や木々から感じます。

自然から、私たちが生きるために必要な水や食料、木材、繊維、医薬品など、さまざまな恵みを頂いております。その大切さは計り知れません。また、自然は私たちの心を癒す効果も期待できます。自然を守ることは、持続可能な社会(SDGs)を実現するためにとっても重要です。自然を守るには、まずは脚下照顧の心からです。